

南会津 のうりん ニュース



今号の写真:只見ふるさとの雪まつり

目次

トピックス

〔豊かなむらづくり顕彰〕只見米ブランド協議会が晴れの受賞！／南郷トマトが過去最高の販売額達成！／令和5年度「みなみあいづ森林・林業・木材産業フォトコンテスト」の最優秀賞が決定！／多面的機能支払交付金南会津方部研修会を開催しました／第6回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました／新・農業人フェア農業EXPOに出展しました／令和5年度南会津地方鳥獣被害防止対策研修会を開催しました／令和5年度なだれ危険箇所調査を行いました／普及指導成果発表会で最優秀賞を受賞しました／令和5年度耕友会顕彰事業で最優秀賞を受賞しました／林業普及指導員全体研修会で最優秀賞を受賞しました／就農相談会in南会津地域のスキー場を実施しました／南会津地方園芸振興会議を開催しました／令和5年度南会津地域農業普及推進懇談会を開催しました／森林整備の進め方検討会を実施しました／特産品開発講習会を開催しました／農家民宿経営者意見交換会を開催しました／令和5年度あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました

農林事務所からのお知らせ

相続登記の申請が義務化されます／代掻きに向けた農業水利施設の維持管理について／早生樹(センダン・ユリノキ)の生育状況を報告します

コラム

- ・キラリと光る南会津の6次化商品～ふくしまのお米を楽しむ食べ比べ米粉クッキー缶～
- ・南会津の新星インタビュー～市村春絵さん～

第219号(令和6年3月15日発行) 福島県南会津農林事務所

トピックス

〔豊かなむらづくり顕彰〕只見米ブランド協議会が晴れの受賞！／

只見町の「只見米ブランド協議会」が、「令和5年度豊かなむらづくり顕彰事業」表彰を受賞し、2月1日に福島市で表彰を受けました。県と福島民友新聞社が共催する本事業は「むらづくり部門」と「農業生産部門」に分かれていますが、今回、南会津管内で初の「農業生産部門」での受賞となりました。



只見米ブランド協議会の皆様

只見米ブランド協議会は、自然環境に配慮した特色ある生産により、只見米の付加価値を高めることで将来にわたる町内での米づくりの持続と継承を目的に、平成29年に町の中心的な担い手6者により設立されました。構成員の令和4年度の水稲作付面積は104haで町全体の1/4に達しており、さらに拡大しています。平成30年からJA会津よつばを通じて「粒厳選生産者限定南会津只見産コシヒカリ」を県内スーパーほかで販売しており、令和元年には全員がGAP認証を取得するなど、文字どおりのブランド化が図られています。さらに「只見米フェス」の開催など町内外の消費者に只見米のおいしさをPRし、地産地消に寄与する取組など、地域農業の振興と地域活性化に大きく貢献しており、この点が高く評価されました。

今後も只見町の水稲生産の先導者として協議会活動のますますの充実と発展が期待されます。

(農業振興普及部)

＼南郷トマトが過去最高の販売額達成！／

令和5年度の南郷トマトの販売額が12億2,900万円となり、昨年度に続き2年連続で最高額を更新しました。これを受けて、12月18日に、南郷トマト生産組合の役員3名が内堀雅雄福島県知事を表敬訪問し、過去最高の販売額となったことを報告しました。



表敬訪問の様子



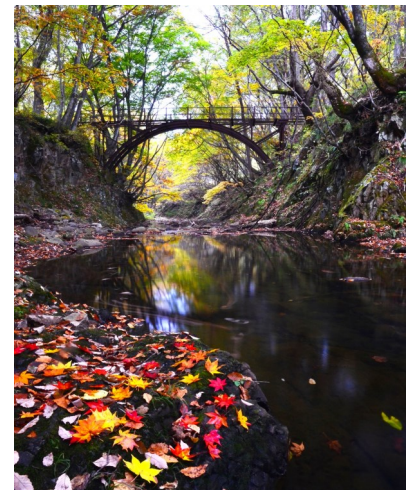
祝賀会の様子

また、2月15日には市場や各関係機関、生産者の出席のもと、「販売額12億円達成祝賀会」が開催されました。祝賀会では、過去最高の販売額を記録した喜びを分かち合うとともに、次年度も好成績を残せるよう、関係者一同気持ちを新たにしました。

(農業振興普及部)

＼令和5年度「みなみあいづ森林・林業・木材産業フォトコンテスト」の最優秀賞が決定！／

昨年度に引き続き「南会津の森林・林業・木材産業の魅力を伝えよう」をテーマに開催したフォトコンテストの入賞作品が決定しました。全32点の作品から選ばれた最優秀賞は佐藤弘さんの作品で、タイトルは「秋彩」です。広葉樹林を流れる清流に色鮮やかな紅葉が映り込む南会津らしさの詰まった作品となりました。



入賞作品は今後、当事務所ホームページやInstagram等で公表するとともに、その他応募作品と併せて新規林業従事者の確保に向けたPRや南会津の森林を紹介するパンフレットに活用させていただく予定です。

御応募いただいた皆様、大変ありがとうございました。

(森林林業部)

「秋彩」

＼多面的機能支払交付金南会津方部研修会を開催しました／

12月4日に御蔵入交流館において、令和5年度多面的機能支払交付金南会津方部研修会を開催しました。地域の農地維持や草刈り等の共同活動を支援する多面的機能支払交付金ですが、各活動組織を対象とした研修会は令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できず、約4年ぶりの開催となりました。高齢化等により人手不足が進む南会津地方において、活動継続へ向けた検討や日頃の事務にいかせるよう、広域活動組織の設立に向けた金山町の取組や多面的機能支払交付金の事務処理について、講師の方から御講演をいただき、草刈りの安全講習や機能診断の手法についてDVDを視聴し研修を行いました。



研修会の様子

(農村整備部)

＼第6回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました／

12月27日から2月22日まで「Instagram投稿キャンペーン～南会津の農林産物と6次化商品を食べよう！～」を開催しました。このキャンペーンはInstagramを用いて南会津産品の認知度向上及び消費拡大を図ることを目的に、期間中に南会津の農林産物や6次化商品、または南会津の農林産物を使用した料理の写真を撮影し「#おいしいみなみあいづいただきます」をつけて投稿した方に、南会津のお米や6次化商品をプレゼントするものです。応募数は86件となり、2月28日に抽選会を行いました。

今後も南会津農林事務所では公式Instagramで南会津地域の農業に関することやおいしい食の情報を発信してまいりますので、ぜひフォローをお願いします。

抽選会の様子



(企画部)

＼新・農業人フェア農業EXPOに出展しました／

1月20日に東京国際フォーラムで開催された、国内最大級の就農イベント「新・農業人フェア農業EXPO」にブース出展をしました。

南会津の農業の魅力を紹介するとともに、新規就農や移住・定住に関する情報提供、当事務所で実施している「南会津ふるさとワークステイ事業」の紹介や「就農相談会in南会津地域のスキー場」などをPRしました。

会場には1,310名の方が来場し、各ブースやセミナーで情報収集しており、他のブースに負けないう、南会津の魅力をアピールしました。

当事務所では、引き続き南会津の魅力を発信し、農業の担い手確保に努めてまいります。

(企画部)



来場者に対する相談の様子

＼令和5年度南会津地方鳥獣被害防止対策研修会を開催しました／

1月29日に南郷総合センターにおいて、農業者、町担当者など40名の参加のもと、南会津地方鳥獣被害防止対策研修会を開催しました。

研修会では、南会津地方を拠点に鳥獣被害防止対策アドバイザーとして活動されている株式会社BOULDERの千本木洋介代表取締役から、「クマの基本的な生態と、南会津地方のクマ対策について～地域がこれからすべきこととは～」と題し、講演をいただきました。また、出席者からの質問に対し、これまでの鳥獣被害防止対策の実践経験を踏まえた助言をいただきました。

本研修会を機に、南会津地方におけるクマによる農作物被害が軽減することを期待しています。

(農業振興普及部)



研修会の様子

＼令和5年度なだれ危険箇所調査を行いました／

1月下旬から2月中旬にかけて、過去になだれが発生した箇所を中心に、なだれ危険箇所の現況について調査を行いました。小型ドローンや望遠レンズなどを駆使し、山の斜面になだれの兆候(積雪の亀裂や、雪^{せつ}び)が見られないかを確認しました。

今回の調査では、なだれの兆候や被害は確認されませんでした。なだれが発生する可能性がある箇所は引き続き調査を実施していく予定です。

なだれは、積雪が斜面に留まる力と、重力により落下する力が均衡を保てなくなった際に発生し、そのきっかけは、「降雪による雪の重量の増加」、「気温の上昇や降雨による融雪」、「動物や人による物理的な衝撃」などが挙げられます。雪の多い地域にお住まいの皆様は、ハザードマップやなだれ注意報などを確認するなど、日頃から注意をお願いします。

(森林林業部)



なだれ防止柵と保全対象(人家等)

＼普及指導成果発表会で最優秀賞を受賞しました／

2月1日に農業総合センターにおいて普及指導活動成果発表会が開催され、県内の農林事務所農業振興普及部・農業普及所から14事例の発表がありました。

当事務所南郷普及所の我妻昌彦技師が『「チーム南郷」で目指せ100年産地！南郷トマト産地の維持発展に向けた取り組み』と題して発表しました。南郷トマト産地の維持・発展ともうかる農業の実現のため「新規就農者の確保・育成」や「単収及び品質向上」、「ブランド力強化」に関係機関・団体と一体的に取り組んだ結果、令和5年の販売金額が過去最高を記録したことなどが高く評価され、最優秀賞を受賞しました。

(農業振興普及部)



我妻技師の発表の様子

＼令和5年度耕友会顕彰事業で最優秀賞を受賞しました／

2月2日に福島市において、「令和5年度耕友会顕彰事業」の選考会が行われ、当事務所農村整備部の大石主査が最優秀賞を受賞いたしました。

「耕友会顕彰事業」とは、福島県の農業土木職員で構成される耕友会において、優れた農業土木技術を発揮した者や、職務の遂行にあたって抜群の成績をあげ他の職員の模範となる者などを顕彰するものです。

今回、大石主査は担当するほ場整備事業梁取地区での「園芸ギガ団地化への取組」として、積極的に関係機関と連携し、南郷トマトに適した土作りに向けた在来土と客土の混合率の決定や、点在するトマトハウスの団地化に向けた移設・撤去・新設時期をわかりやすく見える化し、地域と合意形成を図った点などが特に高く評価されました。

今後も、大石主査のみならず農村整備部、所内一丸となり、関係機関との連携強化を図り、計画的に事業を進めていきますので、引き続き、地域の方々の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

(農村整備部)



贈呈の様子



現地研修会の様子

＼林業普及指導員全体研修会で最優秀賞を受賞しました／

2月2日に郡山市において開催された林業普及指導員全体研修会で普及活動成果を発表しました。この研修会は県内7つの地域で活動した事例を林業関係者や普及指導員と共有することにより、効果的な普及活動と地域林業の発展に資することを目的に県が毎年開催しているものです。

当事務所からは森林林業部の芳賀技師が「森林経営管理制度の市町村支援と着実な森林整備の実行に向けて」と題して発表しました。森林整備に必要な地域の合意形成や、森林整備のための実施方法について、森林GIS・航空レーザ計測データ等を用いた計画立案や、地域座談会等に取り組んだ点が高く評価され、最優秀賞を受賞しました。

今後、新年度に青森県で開催される北海道・東北ブロックでこの取組を発表する予定であり、他県とも情報交換しながら、町村等と連携し当地域に合った活動を進めてまいります。
(森林林業部)



普及活動発表の様子

＼「就農相談会in南会津地域のスキー場」を実施しました／

2月11日に会津高原南郷スキー場において、就農相談会を実施しました。

この取組は、南会津地方ではスキー場での地域農業者との交流をきっかけとして就農する例があることから、昨年から実施しているものです。

今回の相談会は、南郷スキー場のテラスで行い、相談には当事務所職員と福島県農業振興公社の就農コーディネーターが対応しました。

当日は4組の相談者が訪れ、南会津で生産している南郷トマトの話などを熱心に聞いて、自身の就農への思いを膨らませていたようでした。

この相談会をきっかけに、南会津地方での就農者が増えることを期待しています。



相談会の様子

(農業振興普及部)

＼南会津地方園芸振興会議を開催しました／

2月13日に田島建設会館において、令和5年度南会津地方園芸振興推進会議を開催しました。この会議は、令和3年に県が策定した「福島県園芸振興プロジェクト」に基づき、南会津地方のトマト、アスパラガス、りんどう、宿根かすみそうの品目別取組計画を進行管理するもので、このプロジェクトに基づき、構成員である町、JA、生産組織が連携して南会津地方の園芸振興に取り組んでいます。

会議では、当事務所の各品目の担当者から、令和5年度の実績と今後の取組について説明し、その後、参加者全体で意見交換を行いました。課題や目標を共有することで、各機関・団体の連携を深めることができました。

今後も一丸となって南会津地方の園芸振興を進めてまいります。

(農業振興普及部)



会議の様子

＼令和5年度南会津地域農業普及推進懇談会を開催しました／

2月13日に田島建設会館において、令和5年度南会津地域農業普及推進懇談会を開催しました。普及指導計画に基づいて取り組む、ひとづくり(担い手対策)、ものづくり(産地・流通対策)、地域づくり(地域活性化対策)の視点による4課題について今年度の普及指導活動実績を報告するとともに、令和6年度の普及指導計画案について説明しました。また、普及指導活動の成果として、南郷トマト産地の維持・発展に向けた取組及び鳥獣被害防止対策の総合的な対策を行うモデル集落(下郷町小松川集落)の取組について報告しました。



懇談会の様子

農業者や関係機関・団体の皆さまからいただいた意見等につきましては、次年度の普及指導計画に反映させてまいります。
(農業振興普及部)

＼森林整備の進め方検討会を実施しました／

2月16日に、令和4年度から「森林・林業と薪エネルギーの利活用プロジェクト」に取り組む只見町と森林整備の進め方について意見交換を行いました。

只見町は、只見ユネスコエコパークの目標の一つに「持続可能な環境・資源の利用と地域の社会経済の発展」を掲げており、このプロジェクトは、地域内の森林を育成する過程で発生する間伐材等を町内で薪に加工し、温泉施設等でエネルギーとして利活用していく取組です。

当日は、当事務所職員から森林整備の進め方等の提案をいくつか行いましたが、只見町では既に町職員が自ら森林資源の状況を調べて、地区ごとに座談会を開催するなど、町民の方々の声を聞き、今後の対応を検討されていきました。豪雪地域において市場価値の高いまっすぐな樹木を育成していく大変さがありますが、今ある資源を町職員の方々が知恵を出し合い取り組む姿は、同じような課題を抱える市町村のモデルになる可能性が多いにあると感じました。

今後、地域の実情に合った支援の方法を検討しながら、森林資源の活用による循環モデルを進めてまいります。
(森林林業部)

＼特産品開発講習会を開催しました／

2月22日に、南会津町たのせ地区たのせ集会所で特産品開発講習会を開催しました。本講習会は、南会津における地域産業6次化の推進を図るため、地元の農産物をいかした売れる商品を目指して開催したものです。

当日は(株)山際食彩工房の山際博美氏から、ゴボウやセロリ、椎茸などを乾燥させたものを混ぜて作った塩を使用しておかき作りや、おやきの具材作りを教えてくださいました。



おかき作りの様子

セロリや椎茸などを塩に混ぜるのは想定外で驚きましたが、実はセロリは葉の部分、椎茸は軸の部分を使用しており、食材を無駄なく使うことができるものでした。

製造方法だけでなく、量や包装、販売方法など、活発に質問や意見を出し合いながら、売れる商品を目指した話し合いが行われ、今後の販売へ向けた大きなステップとなりました。
(企画部)

＼農家民宿経営者意見交換会を開催しました／

2月26日に会津田島駅ステーションプラザ2階会議室にて、農家民宿経営者や新規開設に興味のある方を対象とした、農家民宿経営者意見交換会を開催しました。

当日は、南会津地域における農家民宿の現状説明やグループディスカッションを行い、「南会津地域において教育旅行を受入可能な農家民宿を維持・拡大するために必要なこと」をテーマに、参加者が活発に意見を出し合いました。

また、ワークショップでは講師の会津六名館の瀬田恒夫氏から、笹の葉を編んだおにぎりの包装づくり体験の講習をしていただいたほか、教育旅行生を受入れた際の体験のヒントも話していただきました。

南会津地域における農家民宿の更なる活性化のため、これからも皆様と一緒に考え、知恵を出し合いながら取り組んでまいります。

(企画部)



意見交換会の様子

＼令和5年度あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました／

2月29日に御蔵入交流館にて、6次化事業者や地域産業6次化に興味のある方を対象とした、令和5年度あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました。

第1部の基調講演では、合同会社ねっか代表社員脇坂齊弘氏から「未来につなげる6次化商品づくり」と題して、合同会社ねっかの経営理念、地域課題解決への取り組みや焼酎製造などのお話をいただきました。

また、第2部のワークショップでは、新商品開発をテーマに、参加者の方がグループを作り新商品について意見交換を行いました。

第3部ではふくしま6次化個別無料相談会を行い、ふくしま地域産業6次化サポートセンターのイノベーターであるAPJ株式会社代表取締役の松崎健太郎氏から、オンラインで商品づくりのアドバイスが行われました。

会津・南会津地域における地域産業6次化の推進のため、これからも事業者の皆さまに必要な支援を行ってまいります。

(企画部)



基調講演の様子

農林事務所からのお知らせ

一相続登記の申請が義務化されます一

相続登記がされないことから所有者不明土地が全国で増加しており、農地の荒廃など周辺の環境悪化や担い手への集積・集約化の阻害などが問題になっています。このため、これまで任意だった相続登記が令和6年4月1日から義務化されます。

相続人は、不動産の相続を知ってから3年以内に法務局で相続登記をすることが必要になり、正当な理由がなく申請を怠れば10万円以下の過料が科される可能性があります。なお、令和6年4月1日以前の相続においても、相続登記がなされていないものは、義務化の対象になりますので御注意ください。また、農地を相続した場合は、農地法第3条の3第1項の規定により農業委員会へ、地域森林計画対象の森林を相続した場合は山林担当課へ相続登記の届出が必要です。お近くの町村へお問い合わせください。



法務省ホームページ

相続登記について、詳しくは法務省ホームページを御覧ください。

(企画部)

一代掻きに向けた農業水利施設の維持管理について

令和6年の作付けに向け、農業用水利施設の維持管理をお願いいたします。今年の雪の量は平年に比べ少ないですが、一度にまとまった量が降っており、気温は平年に比べ高い日が続いていることから雪が一気に溶け出し、融雪による農業用水利施設の被害が懸念されます。そのため、取水口や水路等の農業用水利施設について、通水前に地域や水利組合等において点検いただき、適切な維持管理の上、大きな被害が確認された場合は施設管理者へ速やかに連絡をお願いします。（農村整備部）



水路破損の様子

一早生樹(センダン・ユリノキ)の生育状況を報告します

令和3年12月3日に南会津町高野地区で実施した、センダンとユリノキの植栽研修会の内容を第209号で紹介しましたが、今回はその後の状況についてお知らせします。

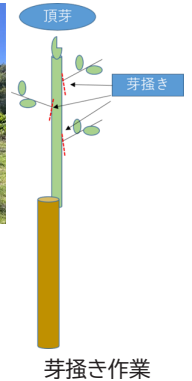
令和4年春に現場に行くと、ユリノキは問題なく活着して



高野地区のユリノキ



馬越地区のセンダン



芽掻き作業

いましたが、センダンは全て枯れていました。木化しない柔

らかい組織のため凍害に遭ったものと推測します。高野地区より一月早く植栽した管外の植栽箇所(会津美里町馬越地区)は、センダンの根元から萌芽が発生し蘇生して草丈を超えるほどに生長

していました。しかし、2回目の越冬時(令和4年～令和5年)に先端付近が枯れる(梢端枯れ)被害が発生してしまいました。ところが枯れてしまった幹の直下から腋芽が発生し、枯損部を切除する処置を行うと頂芽になって伸長しました。幹が真っ直ぐに伸びるよう芽掻き作業を繰り返し行った結果、植栽から2年足らずで両地区のユリノキは樹高2m程に、馬越地区のセンダンは大きいもので4m程にまで生長が見られました。

また、2月15日に行われた関東森林管理局森林・技術等交流発表会において、当事務所森林林業部の五十嵐主任主査が「積雪寒冷地への早生樹『センダン・ユリノキ』の適応性について」をテーマに発表し、奨励賞を受賞しました。（森林林業部）

キラリと光る南会津の6次化商品

～ふくしまのお米を楽しむ食べ比べ米粉クッキー缶～

【米粉のおやつ菓子工房Sucre(シュクレ)】

今回御紹介するのは、南会津町の米粉のおやつ菓子工房Sucreが販売する、「ふくしまのお米を楽しむ食べ比べ米粉クッキー缶」です。福島のお米4品種「こしひかり」「ひとめぼれ」「天のつぶ」「福、笑い」を使った10割米粉・添加物不使用の食べ比べクッキーです。

「ふくしま満天堂グランプリ2023」で準グランプリを受賞したこの商品には、「小麦アレルギーがあってもなくてもみんな一緒に美味しい、楽しい時間を過ごしてほしい」、「福島のお米を楽しんでほしい」という作り手の想いが詰まっています。

米どころ福島を存分に味わえる米粉クッキー、ぜひ御賞味ください。



【米粉のおやつ菓子工房Sucre(シュクレ)】

〒 南会津町丹藤中川原675-10

☎ 080-1826-6151

🌐 <https://sucre2013.base.shop/>

南会津の新星インタビュー ～市村 春絵さん～



今回は、下郷町で3年間の地域おこし協力隊を経て、令和6年度からアスパラガスで新規就農する市村春絵さんにお話を伺いました。

移住したきっかけを教えてください

出身は茨城県ですが、母の実家が会津若松市にあり、会津地方の風景や人柄が好きで、いつか住みたいと思っていました。主人から地域おこし協力隊を勧められ、たまたま隊員を募集していた下郷町へ応募したのがきっかけです。

地域おこし協力隊ではどのような活動をしたのですか

市民農園「クラインガルテン下郷」を拠点に、運営の補助やイベントの企画、町内農家さんの手伝いや取材などを行いました。クラインガルテン下郷の管理人さんから基本的な農作業を教わり、トラクターの操縦なども覚えました。

なぜアスパラガスでの就農を選んだのですか

農家さんの手伝いを通して、お米やトマトなど様々な農作物に携わりました。その中で、苦手な作業が一番少なかったのがアスパラガスでした。実はアオムシが苦手です……農作物の中でもアスパラガスはほとんどアオムシがつかないのです(笑)

どのようにして栽培技術を習得したのですか

「会津田島アスパラ部会」の研修生として、令和6年3月31日まで2年間、研修を受けています。ハウスのビニール掛けや機械の操作方法などを実際に見て触れることで覚えました。アスパラガスの育つ様子を観察しながら有効な薬についても教えていただきました。機械が重く女性の力では難しい作業もありましたが、周囲の方がいつも優しく教えてくれて、たくさん助けていただきました。

今後の目標と、農業を志す方へメッセージをお願いします

アスパラガスは生産者の減少や高齢化が進んでいますが、無くなってほしくないという思いがあります。後に続く人が出てきてほしい、そのために自分が頑張ってつなげていきたいです。

勢いだけで農業をするのは難しいですが、周りの人に聞けば教えてくれますし、飛び込めば何とかありません。もっと気軽に農業への扉を叩いてほしいです。

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
☎ 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256
ホームページ：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/>

